



2022 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 高橋 広
 コード番号 6707 (東証 プライム市場)
 問 合 せ 先 I R 部 長 岩田 卓也
 T E L (048)472-1111

第 2 四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月12日に公表いたしました第2四半期業績予想と実績値との間に差異が生じたのでお知らせするとともに、同日公表の通期業績予想につきましても修正いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異 (2022 年 4 月 1 日～2022 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) 2022 年 5 月 12 日公表	百万円 94,000	百万円 8,500	百万円 8,000	百万円 2,200	円 銭 91.15
今回実績(B)	105,965	8,196	8,400	2,954	122.41
増減額(B-A)	11,965	△ 303	400	754	—
増減率(%)	12.7%	△ 3.6%	5.0%	34.3%	—
(ご参考)前期実績 (2022 年 3 月期第 2 四半期)	86,421	6,449	6,116	1,958	81.17

2. 2023 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) 2022 年 5 月 12 日公表	百万円 190,000	百万円 21,000	百万円 20,000	百万円 6,700	円 銭 277.61
今回修正予想(B)	222,000	23,500	23,000	8,000	331.40
増減額(B-A)	32,000	2,500	3,000	1,300	—
増減率(%)	16.8%	11.9%	15.0%	19.4%	—
(ご参考)前期実績 (2022 年 3 月期)	175,660	13,720	13,700	3,204	132.79

3. 第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正の理由

当第2四半期連結累計期間の市況環境につきましては、自動車向け製品では、xEV化やADASなど環境対応の進展並びにサプライチェーンにおける部材確保の動きが継続しました。白物家電向け製品は、引き続きインバータ化、DCモータ化が進展するものの、中国ゼロコロナ政策やウクライナ情勢に起因する景気の減速により計画比で伸び悩みました。産機市場におきましては、サーバー向け製品など高水準な出荷が継続しました。

こうした市況環境並びに為替による影響から、連結売上高が前期比22.6%の大幅な増加となり、第1四半期に米国子会社 Allegro MicroSystems, Inc.において一時的な株式報酬費用34億18百万円を営業費用として計上したものの、各利益段階において前期比増となったことから、第2四半期の業績予想と実績値との間に差異が発生いたしました。

今後の見通しにつきましては、自動車市場向けを中心に長期リードタイムの確定注残に伴う好調な出荷が見込まれますが、世界的な金利の上昇やインフレの推移、為替の動向に加え、ウクライナ情勢等がどのような影響を及ぼすか注視すべき状況にあります。これらの経済環境や市況環境の変化から白物家電市場向けにおいては調整局面が続くと見ており、足元、半導体不足の状況ではあるものの、当社の受注動向を慎重に見極めていく必要があります。また、大幅な円安による収益の改善がありながらも、同時にコスト面の影響もあるため、更に精査していく考えであります。こうした状況並びに今後の見通し等を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました通期業績予想を修正いたします。

以 上